岩美中学校 第１学年 学年だより 第２８号

令和５年２月７日
文責　安井　　仁

『challenge（チャレンジ）』

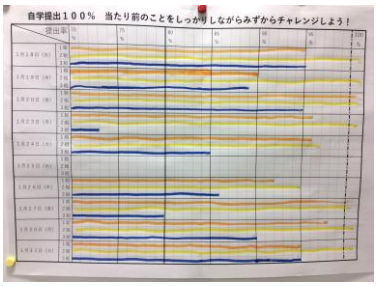
伝えるとは・・・

総合的な学習の時間で、『これからの岩美町』をテーマに探究学習を進めていましたが、先月末、まとめの発表を行いました。２学期からの探究学習では、ただ単にインターネットや図書での情報収集だけでなく、地域の店舗や岩美町役場に直接話を伺いに行ったり、アンケートを実施したりするなど自分たちで情報を集める経験を大事に行いました。いくつかの班は県外の業者や店舗に電話やメールで主旨説明から行いました。インタビューもしていましたが、生徒も初めての経験で戸惑いながらも、どうすれば失礼がないか、きちんと言いたいことを伝えられるかなんとか取り組みました。一生懸命考え、協力して進める姿を見ることができました。また発表前日には大雪のため学校が休校となり、予定していたプレ発表を実施することができませんでした。しかし各班のリーダーを中心に発表原稿や役割の分担などオンラインで行い、無事発表を終えることができました。発表のスライドも文字だけでなく、写真やイラスト、表やグラフなどのレイアウトも見やすくなるよう工夫しており感心させられる班もたくさんありました。

しかし多くの班は、スライドを見せ、用意していた発表原稿を読む作業に終始しており、聞いてくれている人を置き去りにしてしまっている感じがしました。人前で発表することの緊張もあったかと思いますが、伝えることに関しては不十分だったと思います。

普段の学校生活でも自分の考えや思いなどを相手のことを考えず、表現してしまう生徒が目立ちます。ご家庭ではいかがでしょうか。必要最小限の言葉や単語での会話になってはいないでしょうか。ちなみに、会話は、二人あるいは少人数で友好的にお互いに話を進めることであり、たわいのない日常の中でのやりとりも含まれます。一方、「対話」は会話のなかのひとつで、二人がお互いに向かい合って話すことであり、関係性を築くためのコミュニケーションの意味合いが強いそうです。伝える力は一朝一夕に身につくものではありません。ご家庭でもしっかり「対話」していただけたらと思います。

本物は続く　続けば本物になる



正副室長の取り組みとして、自学ノート提出率チェックを９日間行いました。目標は８０％以上の提出でしたが、どのクラスも意欲的に取り組み、全体平均９４％の提出となりました。特に２組はがんばり、１００％（全員提出）が７日、平均９８．５％という結果でした。そしてさらにうれしいことに、チェック期間終了翌日もほとんどの生徒が提出しているということです。この取り組みが一過性のものではなく、自学をするのが当たり前という一歩になってくれることを願います。